

二 旦 夕 刊

趙東潤男、関泳瑛、嚴柱益の五氏
二月朝入港の高麗丸にて釜山著同
時三十分發刻車にて歸京の途に就けり(釜山特電)

通^レり辭令^{じき}ありたり(東京特電)
海軍少將 鈴木

佐藤軍醫部長巡視

田中半四郎氏辭

任にん從來じやうらい全州ぜんしゅう、木浦もくほの各所かくしよに
大正四年四月たいしやうねん月中旬げつちゆうはんより滿鮮まんせん巡警じゆんけい

教師を配置し去
 州水原地方の
 四日歸任すべし

分屯隊巡視中なりしが
しと▲大田の随時検閲
反別一千

作状況を聞くに小麦は作付
二百六十町歩にして其の收

間慶南督務部長 二日朝釜山より東萊へ
木忠北道尹務官△松木根氏(農業者) 一



第一百六十四席 田邊南龍口演

折打でふいます。家光公も兩家が和
睦をせしたと云事を聞てお喜になる。
藤左衛門公嘉明が隠居いたして式部少
輔明成の代となつて奥州の會津を領
して居りました處、如何なる六魔の
魁しことやら加藤忠廣に誘はれて陸
河大納言忠長公にお味方をいたし
一朝事あらば奥州會津へ飛城して誤
叛旗を翻すといふ思召であつたに
處、端なく陰謀露顯いたした本多ト
野介は滅びいたし、陸河大納言忠長
公は高崎に於て切腹、其の外島居朝
倉重清罪となり、加藤式部少輔も脱
れる處なく會津四十萬石沒收身は

初腹と相成りました。賞問の正しいことと三代將軍の御政治人皆是を感にしました。大納言忠長公の子息國千代君は未だ八歳の幼弱松平右衛門大君は正統にお預けになつて居ります。家光公の爲には切實のこと故筆で安部醫院

泌尿器科 皮膚科
外科一般 花柳病科

院長 安部修三

京城永樂町二丁目金光教會隣

安部醫院

再興をさせ召出して這はさうといふ
思召である、處、芽出度も家光公の
爲には御馳領の君であつて後四代將
軍家綱公と申し上げる若君が御誕生
になりましたから、家光公のお喜び
は一ひなさらす、御馳ひとして罪ある
者は免しそれ、御仁免の御沙汰が
ありました。

六月四日九星
 丙辰四月十五日丁丑
 本命五黃八方赤口

▲五黃	無理の功あり却る日却る月見合方は丁未
▲六白	隱匿の日轉居謀生入姓名現候事
▲七赤	親類の日

前求 財庫金銀財物等萬計 ▲七赤 親類の日
 行商 出金有り 財求 暗闘争人取給
 吉 八白 世のむねあり 運知 暗闘争人取給

手拍子、舞臺の柱に古九郎が膝を日結ば開いて居る。古九郎は、
等音吉三子の意外な善態を得る。郎は有給の日、
△白、世の崩れた意味する口振と手拍子被り。
△白、娘なし。△黒、親れを感へ無になる事。
日本手拍子歌、土工口、娘なし。△赤、離別。
あるもの、日本手拍子歌、手拍子被り一切の略。
を奏す。四鼓、思ひの、娘を盗んとす。新事と
時、新事と、女子には恨を守らるべし。

小説 **過去の罪** 定價五〇四圓
 山縣五雄先生譯 郵税〇四〇圓
 親子の愛、兄弟の愛、主君の愛、戀人の愛、すべて人情の美を描き出したる量美しき小説にして涙もあれば笑もあり
 京城日報代理部 振替京城三〇〇

眞寫
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速に可憐懇切な旨と御高荷に可應候
京城日報社寫眞製版部

わさが

にて今迄彼星
に他の薬を服し
ひ効なき方は即
れ藥價六十圓

「ワザザー」を御用ひ丁目
二圓 京産黄金町三丁目
電話二九四九 山田文殊堂藥局

[illegible]

模範
牛乳
石鹼
洗粉
東京
城菜
業四
門日
正太
場

新荷著

懷中時計

ルンパ機



正計水筆筆機
正計水筆筆機
正計水筆筆機

[illegible][illegible]

本店
京城本町二丁目電話九七二無

古に無き所の樹して解はくば、
郭庭の地方遠隔の術注文に對しては代金引
小郵便便の方で御送市上候

時計、蓄音器、ミシン機、直輸入商
械、自轉車、洋酒各國貨

イングリッシュ・商会


氣持よく治癒る

無^{けん}の^ぶ斗^{とう}がん

か^くわ

腦が病める。頭痛がする。
便秘がする。逆上せる。
夜眠られぬ。等の爲めに。
多年苦んでゐた

腦神經病患者も





▲中風 ▲頭痛

▲卒中 ▲便秘

▲腦貧血 ▲健忘

▲神經痛 ▲眩暈

▲腦膜炎 ▲耳鳴

▲腦充血 ▲逆上

主効

健腦丸を常に少量死持喫せれば逆上を引下け便運を快しする可き腦充血を快治し中風卒中を求發に防ぎ記憶力を増進する特効あり

價

四回分二十錢

一回分七十錢

三週分五圓

十週分五圓

全藥費別取

半圓分四十錢

五週分五圓

全藥費別取

本舖

大坂

東京

丹平商會

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用化粧用等各用途に従つて其種類を異にす。雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、實に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず。

みつわせりん

○ミツワ石鹼

化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性質を具備す。
一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺激を感じずべき虞れあるものを用ひず。
二、温雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて中途に溶け崩るゝが如き憂慮なし。即ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。



商標實品現

種別	
大形	箱装
中形	箱装
小形	箱装
極小形	箱装
大形	箱装
中形	箱装
小形	箱装
極小形	箱装
大形	箱装
中形	箱装
小形	箱装
極小形	箱装

藥庭家ワツミ
スフツロド油・肝

番八四四
番三九四
番五五四

花浪長特話電

店商屋見丸

目丁四町橋區橋本市京東
番〇一七 東京警署

男のひみつ病

●東京順天堂病院の博士學士の御證明、幸夫者の體狀頗る多く且つ全
 點の優等と題して、**專賣特許**、**式眞空療法器**と包自療器と自
 生殖器の短小、包皮、**縮能力**、**障害**、**神經衰弱**、**淋病**、**手**
 器に治るハ方也、**申込**、**非特許品**、**入り説明書**、**無代**、**手**
 (寄附特許より適に劣るの貨を特) 大正市北區本村木町(寄) 東京神療法研究所
 許なるものあり、辨別を要する勿れ)

純良の**藥品**と**寶藥**が揃つて居ます
 〓DADA化粧品代理店ですから

御値がお安いです

古城賛化堂
 電話一〇二番 郵政三七七

比較 サクラ正宗

は最良の

京山 城邑 京邑 電話 八四 城邑 電話

掛掛
 法な
 り!!
 サクラ正宗
 目丁二
 店支城
 四四五
 四五五

て施行せられたるが長官代理澁谷
一郎長を初め官民多數の會葬者あり

電話三三〇番

(一四) 松田竹の島人作

なく彌吉の女と門外へ出て、宛も馴々しく何かに聊してゐたことを、座敷の縁に立つて、垣越しに見たことであつた、何物でも色眼鏡を通して見ると、其通りの色彩に爲るのと同じやうに、田淵の言ふことを信ずると、夫で彌吉の女との間に、何にか秘密があるやうな氣が爲て来なかつた。

「愚う申上げるには、それ相當の證據があるのですしてねわ。」

「證據と申しますと？」

「今御覽に入れませう。」

田淵は立ち上つて、書櫃へと往つたが、壁で一通の書簡を持つて來て京子の前へ置いた。

「證據と申上げましたのは、此書簡です。」

「これは誰れの書簡でございますか？」

「彌吉老爺ごかの女のです。」

「驚きましたはねわ」と京子は眼を

したのでございますか？」

「平素貴女から御覧みもございまして、世々の御身の上に深い御同情を表してゐるもので、京子、市野さんの御舉動には、常に注意をされてゐるのです。だから市野さんへ來る省々簡にも氣を付けてゐたのですが、昨日、此書簡が届いたものです。私がつけて歸つて來たのです。他人の親書を開封するのは、善くいことは知つてゐますが、事情が事情だから、櫛はす開封して讀んで見、實に驚きました。此書簡から、貴へと、市野さんは、何時の間にか、彼の婦人に御接近なつたことがあると見えます。」

田淵の言葉は、恰も火中へ油を注ぐやうなもので、京子の嫉妬の火は益々、胸に燃えねば已まなかつた。

「眞假に驚きましたわねわ。」

「全く驚きました。」

か云ふと、大抵六、七歳ぐらゐ初まつて居る、而してどんな俳優が好きなか云ふ問には何んと言つてもチアツプリンの喜劇に止めが御され次がハムとチビの喜劇と云ふふ合ふ點にあつてどう云ふ氣持になか云ふのは「頭が船い夢をみか」と云ふ答が數多く占め、活劇を眞を見てから眞似たいと思つた」と云ふ云々奇抜な答聞には勿論上松之助の忍耐を逞つて見たいと云ふのが一番ずらにある、◇更に活劇に眞に出る俳優の名を問うたら人の小學生が堂々と語じて、三十人は立派に書き列めたのがあつた人は素晴らしい、◇而して一體に女の生徒になると、斯う云ふ戲問にへるのが、兎角男子の言より遠慮

だ相だが、中には出演俳優の名を
いたのに、底々しく「チアップリン
と書きその傍へ陰鬱に現れるチア
プリンそのまゝの得意な似顔を描
て、學校中の教員をアツと言はし
のがあつた。

○日楊會
夕立ありとて夜更覺れり居る
騎士の爵よりして盟く青葉かな
土立のすそにて盟く青葉かな
山寺や蟬の聲して夏を知る曲
蟬鳴くや大樹の下に青葉風
松先の花に迷ひたり夜草の蟬
依光の使來ぬとて白蓮略
柳に乗じて既なる山路を白蓮略
蟬鳴く木實の出路を白蓮略
野路の家にはなくては蟬時雨
柳天竹容古青草春東会北

○東方詩話(六月號) 支那革命の一機軸
編輯者 政界現象と建築論の必
博士正明 劉勳著を主として近世政治小説家
前達と青年作家長短論等
題辭の書寫(二篇)並に其の東京に行ける
關中村健太郎、支那革命論(五頁)
三田小南雄生、支那革命論(五頁)

科と世界六十五歳期開始の年齢を訂正し、
 生理衛生、天文地理、理化と應用、植物動物の
 各論、生活と健康の四記事、教則、二十五歳期
 東京東洋館編、四人共註。
 大帝國(六冊) 自己監督、永井非郎
 問、日本より日本、山田田子著、女國民共註
 河野河子編、純粋なる男傑たる其國民共註
 東京東洋館編、二人共註。
 學生(六冊) 高等學校入學準備に關する
 中學校教師の養成問題に關する記事、勿論
 一高生の生活の實例、二十村東洋館編、四人
 共註、協同出版。

内地の列車が
 比し、何れも鐵道
 氣持よく、遠路
 今更ら云ふ、遠
 ないが、只、深夜
 者の遺憾とする



内地の各驛にふるが如き、つぎは
 のなき事である、現在有る哩數、なん
 は何でも、是れ非、つぎは各各々
 (秋夫生) 仁川生に告ぐ、ドクトル、
 んで名許なり云ふ、評判だ、是で、顔
 度よいコントラストだらう、お君者
 んだつて、時には、醜態もせや、あ
 になる、さ、(中、仲町) 大町町老

た い づ け 賦 課
亭附近及び南山町生の兩隣愛大家
告て人間の今日其の米を得るが爲
南山と大と何れが大切か恐らく申
大の力を大切と思ふなり我共
にあらず路路の方が大切なり何れ
貴公等は夫税を千圓にせよこの恩
をはかるやそりや大も可愛き可愛
りやこそ發うて年に二圓の税を掛
るさりながら大の側税は一つの樂
みにあらずやさらに側税上に寸分毫
易あらずにまして一戸の餘米税
別割より以上か或は同等なるに十
割よりさらに易にあらずに大に十
の五厘けた附税は多分餘金の莫
を所持して左様なる愚論を唱ふ
と存する少しは人の事を思ひめせ
金あれば御身だけ出し給へ(憤怒生
▲昨今の京城市中の轍水車は南大塚
通五丁目の様な境範道路には車の
なる轍水車を立立てて貰ひたいが
はこりて各商店は大困りだ(やか
しや生)

消化と

胃

●佳味芳香一粒爽快

執務の時や煙草の前後には先づ
仁丹召上れ隋氣を去り元氣を復す

主効

消化不良 胸腹の痛
食欲不進 頭痛眩暈
舟車の暈 精神鬱結
中暑傷寒 惡酔惡心
吐瀉下痢 惡疫豫防

●仁丹の五拾錢包に添付の
ブック形容器

金言
完全なる教育が女に殘すは
城良なる近世なり
(スペンサー)

酒 清 良 厚



日丁四町本川仁
店 酒 金 吉

五十四七番

寫眞材料



寫眞機

日丁二町沽明府城京
店 商 屋 崎 長

番〇一二二話電

マテリアールに一番
ヨクキククスリハ
龍山林藥房觀摩の
マテリアール特効丸
金十錢三十錢五十錢
價セモノアリ御注意
本舖 龍山林藥房
東京本町二丁目
代理店 山岸天祐堂

皇送標



○ 諸君御注意 此の朝王グラス萬年筆 本國バレット社製 眞正十四金ミント先付 最新インキ止式

○ 諸君御注意 此の朝王グラス萬年筆 本國バレット社製 眞正十四金ミント先付 最新インキ止式

東京本町二丁目 電話四四五番 板橋東城二五六番

朝鮮總代理店 釘本藤次郎本店



梅雨は目前

最も衛生的で最も
消化よく常用として
安心第一の菓子

森永
キャラメル

第二注意

三歌波丹 土博學藥 間 顯
吉春田岡 土博學藥 長 師 技

社會式株菓製永森